

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

実施期間: 令和 5 年 11 月

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	死角のないよう、職員の目が届くようにしています。	常に整理整頓を心がけ、スペースを広く使えるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	配置基準以上の人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0%	100%	0%		完全にバリアフリー化をしていないが、一人ひとりに配慮するように心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	定期的な職員ミーティングをおこなっています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向の把握、改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	0%		今後の検討課題としています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	社内研修に参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	ニーズを把握し、発達検査の結果や、他関係機関等と連携し、個別支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	ガイドラインに沿った支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	職員がプログラムを立案し、全体で把握したり、修正しながら行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	日替わりでプログラムを作成し、個々の発達に応じた療育を実施し、固定化しないようにしています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	個々の発達に応じ、個別の課題や社会性の課題等を支援計画に取り入れ、作成しています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	毎朝職員で支援方法の確認等を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	支援の振り返りを行い、記録するとともに、次回の改善につなげています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	概ね6ヶ月に1度、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や管理者等、適任者を選んで出席します。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%	100%		現在該当児の在籍なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%	100%		現在該当児の在籍なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%	移行支援を行う際には、移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行います。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%	相談支援事業所から、支援に関する助言等を受け、支援に活かしています。	児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携も必要に応じて行っていききたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	0%	今後も参加予定です。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	送迎時や連絡帳を通して状況や課題を伝え合っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	0%	保護者むけの研修は行っておりませんが、アドバイス等をお伝えするよう、心掛けています。職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設けています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に説明を行っています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	希望に応じて相談を受け付けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	0%		みらいカフェのような保護者会等を開催できるよう、調整しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう心掛けています。苦情受付・解決担当者は利用契約書・重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	SNS等で発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	0%	個人情報が記載された書類は、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	29%	71%		今後の検討課題としています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	0%	職員会議にて対応方法の確認を行っていますが、必要に応じて見直しを行っていきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	0%	契約時の書類にて把握しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	個別に対応をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	報告書に記載し、職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	マニュアルを作成し、社内研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	0%	児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解している。また指針の作成や身体拘束適正化検討委員会の設置、委員会の開催をしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

実施期間: 令和 5 年 11 月

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	死角のないよう、職員の目が届くようにしています。	常に整理整頓を心がけ、スペースを広く使えるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	配置基準以上の人員配置を行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	0%	0%		完全にバリアフリー化をしていないが、一人ひとりに配慮するように心がけています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	定期的な職員ミーティングを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向の把握、改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	0%	100%		今後の検討課題としています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	社内研修に参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	ニーズを把握し、発達検査の結果や、他関係機関等と連携し、個別支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	0%	14%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	職員がプログラムを立案し、全体で把握したり、修正しながら行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	日替わりでプログラムを作成し、個々の発達に応じた療育を実施し、固定化しないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%	個々の発達に応じた支援内容等を把握し、情報共有しながら設定をしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	個々の発達に応じ、個別の課題や社会性の課題等を支援計画に取り入れ、作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	毎朝職員で支援方法の確認等を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	支援の振り返りを行い、記録するとともに、次回の改善につなげています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	概ね6ヶ月に1度、見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	適切な支援ができるよう、様々な活動に取り組んでいます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や管理者等、適任者を選んで出席します。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%	保護者を通じて情報を得ています。送迎の際に学校の先生とも情報共有をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	43%	0%	57%		現在該当児の在籍なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	0%	情報共有等、必要に応じて行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	71%	0%	29%		まだ移行した利用者がいませんが、必要に応じて情報提供等を行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	0%	29%	相談支援事業所から、支援に関する助言等を受け、支援に活かしています。	児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携も必要に応じて行ってきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%		今後の検討課題としています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	71%	0%	29%	今後も参加予定です。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	送迎時や連絡帳を通して状況や課題を伝え合っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	0%	保護者むけの研修は行っておりませんが、アドバイス等をお伝えするよう、心掛けています。職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設けています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	希望に応じて相談を受け付けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	0%		みらいカフェのような保護者会等を開催できるよう、調整しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう心掛けています。苦情受付・解決担当者は利用契約書・重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	SNS等で発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	個人情報が記載された書類は、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	43%	0%	57%		今後の検討課題としています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%	職員会議にて対応方法の確認を行っていますが、必要に応じて見直しを行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	マニュアルを作成し、社内研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解している。また指針の作成や身体拘束適正化検討委員会の設置、委員会の開催をしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	個別に対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	報告書に記載し、職員間で共有しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

実施期間R5年11月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	8%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	8%	0%	0%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	58%	17%	0%	25%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	75%	8%	0%	17%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	50%	17%	17%		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25%	50%	8%	17%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	8%	0%	17%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	0%	8%	0%		
	14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33%	42%	17%	8%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	75%	17%	0%	8%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	92%	8%	0%	0%		
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	平日利用時間がもう少し長いとありがたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

※児童発達支援

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

実施期間 R5年11月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応等
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	90%	10%	0%	0%	児童では十分だと思うが、放デイでは狭いように思う。(夏休み等同じ時間に活動するのは不安)	倉庫に使用しないものや教材等を入れ、広いスペースを確保できるように工夫をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	90%	10%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	90%	0%	0%	10%		
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	90%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	20%	毎回、色々な課題や遊びを考えてくれる	今後も、楽しみながら活動ができるように考えていきます。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	20%	10%	0%	まつりがあり、地域に住む親子と交流があった。	チラシ等でお知らせしていきます。
	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	10%		
適切な 支援の 提供	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	90%	0%	0%	20%		
	11 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	50%	20%	10%	0%		
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	様子を毎回ノート・口答で教えてくれ、こちらの話もよく聞いてくれる	今後も、連絡帳や送迎等で様子をお伝えしていきます。
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	90%	10%	0%	10%		
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	40%	30%	20%	0%		
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	80%	20%	0%	0%		
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	90%	10%	0%	0%		

	チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応等
17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		
	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	60%	40%	0%	0%		
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	60%	40%	0%	0%		
満足度	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		
	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	写真と共に活動内容をノートで伝えてもらい、とても分かりやすい。楽しく通所している。	様々な活動内容を考え、楽しんで通所いただけるよう、提案していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。